



日本国情纵横

にほんこくじょうたてよこ

RIBEN GUOQING ZONGHENG

主 编 李若柏 董将星

副主编 张群舟



RIBEN GUOQING ZONGHENG



NORTHEAST NORMAL UNIVERSITY PRESS

东北师范大学出版社

WWW.NENUP.COM



东北师范大学文库

本书系东北师范大学图书出版基金项目

日本国情纵横

にほんこくじょうたてよこ

RIBEN GUOQING ZONGHENG

主 编 李若柏 董将星

副主编 张群舟



东北师范大学出版社

长 春

图书在版编目 (CIP) 数据

日本国情纵横: 日文/李若柏, 董将星主编. —长春: 东北师范大学出版社, 2008. 12
ISBN 978 - 7 - 5602 - 5529 - 3

I. 日… II. ①李… ②董… III. ①日语—语言读物 ②日本—概况 IV. H369.4; K

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2008)第 199676 号

☐责任编辑: 魏芳华 ☐封面设计: 张 然
☐责任校对: 刘 阳 ☐责任印制: 张允豪

东北师范大学出版社出版发行
长春市人民大街 5268 号 (130024)

销售热线: 0431—85687213

传真: 0431—85691969

网址: <http://www.nenup.com>

电子函件: sdcbs@mail.jl.cn

东北师范大学出版社激光照排中心制版

吉林省吉新月历制版印刷有限公司印刷

2008 年 12 月第 1 版 2008 年 12 月第 1 次印刷

幅面尺寸: 148 mm×210 mm 印张: 14 字数: 280 千

定价: 29.00 元

前 書 き

日本語教育を行なう時、日本語の音声・語彙・文法・表現などを教えると同時に、日本文化の基礎的知識を教えるということは欠かせられないものである。いかなる言語でも、意思の疎通を図るには、言語そのものの意味ばかりでなく、その言語の背景にある歴史や文化を知ることによって、一層理解を深めることができる。例えば、「はい」「どうも」「おはようございます」「こんにちは」「考えておきます」「結構です」などの言葉を正しく理解する時に、どのような場面でどういう意味で使われているのかを知るためには背景知識が必要である。文化の定義を調べてみると、いろいろな説があるが、簡単に言うと、「人間のいとなみによって作り出された精神的所産」であるという言い方は、間違いないと思う。もちろん、これは幅広い問題であるが、日本語教育においては、「日本事情」、[日本概論]、「日本文化」など大体同じことを指していると思う。それぞれの言い方や内容の選択はテキストの著者の考え方によって、やや違いもありうると思うが、本稿では「日本国情縦横」ということにする。著者の日本文化教育の経験を踏まえ、出来るだけ学習者にとって必要な内容を選び、実用性のある具体的な問題に触れ、興味を感じさせるようにしたいと思っている。内容は地理・歴史・政治・経済・教育・生活習慣・年中行

事・日本人の文化思想・日本文学など多方面に触れることにする。情報資料はなるべく最新資料を引用した。テキストは充実にしているが、講義は簡潔に要点を解釈し、学習者の今後の学習に便宜をはかろうとするのである。人間の生活様式は時代の流れによって流動変遷するが、中にはいつの時代にも変わらないものも認められる。長い歴史によって形成された伝統的な日本文化は何かの形で、現実の日本人の社会生活に表れてくる。そして、日本文化に現れている日本人の性格や心理も、時代によって大きな違いがあるのである。これを知らないと、現実の日本と日本人を誤解しやすい。本稿をまとめるにあたり、後記の図書資料を参考にした。ここに原作者に厚くお礼を申し上げたいと思う。「日本国情縦横」によって日本語学習者と読者が日本と日本人について理解を深め、日本人と付き合いをするとき、早く適応できれば幸いに思う。

「日本国情縦横」の原稿は、前明治大学教授岩崎富久男氏と中国赴日本国留学生予備学校今年度赴任中の日本国基礎日本語教師団団長土屋順一（東京外国語大学留学生日本語教育センター准教授）先生に校閲をお願いし、貴重な意見をいただくことができた。本校のその他の日本人教師にもお世話になったことが多い。ここに厚くお礼を申し上げる次第である。

著 者

2008 年 10 月 18 日

CONTENTS

目 次

1	第1章 日本の姿
3	1 位置と面積
3	2 地形
7	3 気候
8	4 自然災害
9	5 人口
11	6 観光
19	7 都道府県と都市の名称
26	8 日本の姿の注釈
32	第2章 日本の歩み
33	1 原始時代
36	2 古代
43	3 中世
49	4 近世
56	5 近代と現代
78	6 第二次世界大戦後の日本と世界
86	7 戦後中日外交関係
117	8 日本の歩みの注釈
135	第3章 政治制度
135	1 政治制度の基本
139	2 国会
140	3 内閣
141	4 裁判所

144	5	地方行政
145	6	政党
152	7	政治部分の注釈
153		第4章 天皇と皇室
153	1	天皇制の歴史
157	2	天皇の地位
162	3	皇室
167	4	天皇と皇室の注釈
169		第5章 交通機関
169	1	近代日本の鉄道
170	2	現代の鉄道交通
175	3	道路交通
176	4	電車の乗り方
177	5	地下鉄の乗り方
177	6	バスの乗り方
178	7	航空郵送
179	8	海運
180	9	割引制度
181	10	交通機関の注釈
182		第6章 産業と経済
182	1	1945年直後の情況
183	2	復興期
185	3	高度成長期
188	4	ポスト高度成長期
191	5	経済の改変
193	6	産業組織
196		第7章 社会保障
196	1	概要
197	2	年金

199	3	医療保険
201	4	社会保障の注釈
202		第8章 日本の教育
202	1	教育の特徴—明治以前
204	2	教育の特徴 —明治以後から1945年まで
207	3	新制度の学校教育
211	4	国公立と私立
213	5	留学生受け入れ
215	6	各種の教育機関
217	7	教育の注釈
219		第9章 生活習慣・祝日・年中行事
219	1	衣服
221	2	食生活
224	3	住生活
227	4	冠婚葬祭
233	5	祝日・年中行事
251	6	生活習慣・祝日・年中行事の注釈
255		第10章 文化・スポーツ
255	1	伝統文化
271	2	文化財の保存
273	3	現代文化
277	4	スポーツ
289	5	文化・スポーツの注釈
293		第11章 留学生の心構え
293	1	留学関係の手続き
294	2	法律意識
296	3	注意すべき具体的な問題
299	4	部屋探し

300	5	留学生政策と大学事情
303	6	日本留学について
307		第12章 日本人との付き合い
307	1	日本人の言語心理
309	2	日本人の言語行動
314	3	交友の進め方
321	4	「うち」と「そと」、集団の論理
324	5	訪問先でのマナー
328	6	電話のかけかた
330	7	和食の食べ方
333	8	洋食の食べ方
337	9	酒の飲み方
338	10	パーティーのマナー
340	11	出産祝いの仕方
341	12	入学・就職祝いの仕方
343	13	誕生日の祝い方
345	14	霊前での拝み方
347		第13章 日本人の文化思想
347	1	日本文化の起源
349	2	日本文化の特性
350	3	日本人の勤労意識
352	4	日本人の美意識
355	5	日本人の自然観
357	6	日本人の宗教心
359	7	日本人の死生観
362	8	日本人の娯楽観
364	9	文化思想の注釈
367		第14章 日本の文学
367	1	古代
370	2	王朝文学

373	3	武家もの
376	4	町人もの
379	5	近代文学
384	6	現代文学
389	7	戦後の文学
391	8	短歌と俳句
398	9	文学の注釈
412		第15章 動植物のイメージ
412	1	犬
413	2	猫
414	3	馬
415	4	牛
416	5	タヌキ
417	6	キツネ
418	7	タイ
419	8	コイ
420	9	ツル
421	10	カラス
422	11	松
423	12	竹
425	13	桜
428	14	梅
428	15	桃
430		付録:
430	1	ノーベル賞日本人受賞者一覧
431	2	中日国交正常化以来の日本の内閣総 理大臣
432	3	春の七草
432	4	秋の七草
433	5	暦注の六曜
434		主な参考図書

第1章 日本の姿

日本は、アジアの東にある島国である。西側には、近くに海をへだちゅうごくたいりく ちょうせんはんとう ひがしがわ たいへいよう へだ隔てて、中国大陸と朝鮮半島がある。東側には、太平洋を隔ててアメリカ大陸がある。南側には、海を隔ててわが国のたいわんしょう などとうなん台湾省とフィリピン・マレーシア等東南アジアの国がある。もしもおむかし たいへいよう ま なかも日本が大昔から、太平洋の真ん中であつたとしたならば、どうだろう。すなわち、ちゅうごくたいりく たいりく とお はな中国大陸とアメリカ大陸から遠く離れたところにあるという仮説である。もしそうだったら、今の日本のようにはってん たい発展した国にはならなかつただろう。長い年月が経つても、生活の程度は低く、ぶんか はってん もじ つか れきし文化が発展しないので文字も使われず、歴史をまとめるということなどもかんが ふね考へなかつただろう。船に乗って直ぐ大陸に行き、ぶんか まな文化を学ぶこともできないであろう。

約100万年も前の大昔には、今とだいぶようす ちがが様子がつ違つていたようである。りくつづ ぞう大陸と陸続き¹⁾になつていて、大陸から象やサイなどのほにゅうどうぶつ哺乳動物がやつて来て、日本のあちこちを歩き回つていたようである。その後、おおつのしか とらい虎や大角鹿が渡来したようである。そして、またこのお はじ じんるい にほんれつとう動物たちを追つて、今から数万年前に、初めて人類もこの日本列島にやつて来たのである。当時九州は ちょうせんはんとう つづ朝鮮半島と続いていたわけで

ある。もしそのままの^{じょうたい}状態であつたら、今の^{にほん}ような日本という国は
できなかつたであらう。大陸からほかの^{みんぞく}民族があとからあとから人
つて来たことだろう。大陸にある大きな国の^{りょうど}領土になつていたかも知
れない。

^{ちきゅう}地球ができたのは、約 46 億年前のことである。人類が始めて
^{ちきゅうじょう}地球上に現れたのは、今から約 200 万年前だという。日本にヒトが
す^は住み始めたのは2万5000年前ごろではないかという説がある。アジ
ア大陸の^{たいりく げんけい}原型ができたのも、約 10 億年前だという。^{にほんれつとう}日本列島の歴
史は4億年前からだという。日本の始まりは^{うみ}海である。今からおよそ
2億年前から激しい^{はげ ちかくへんどう お}地殻変動2)が起こり、土地の^{りゅうき も}隆起3)によって盛
り上がり、日本列島の^{あ にほんれつとう げんけい}原型が海上に^{しゅつげん}出現したのである。かなり長
い間日本列島は^{ふくざつ かたち}複雑な形で大陸と^{りくつづ}陸続きになつていたようである。
1万年前ごろ、日本は今のように^{しまぐに}島国になつたという。^{なが れきし}長い歴史か
ら見れば、日本にとってこれは都合がよかったのである。他の民族が
^{こ しんにゅう}海を越えて侵入できないので、日本民族は^{にほんみんぞく どりつ へいわ たも}独立と平和を保つこと
ができたのである。また、日本は^{ふね}船を利用して、大陸文化を^{と い}取り入
れながら、^{しょうか}ゆっくりそれを消化して、日本人にふさわしいものに
^{しあ}仕上げることができたのである。だから^{ちりてきいち}地理的位置は、^{いつこく はってん}一国の発展
に^{おお じょうけん}大きな条件となると言えるのである。

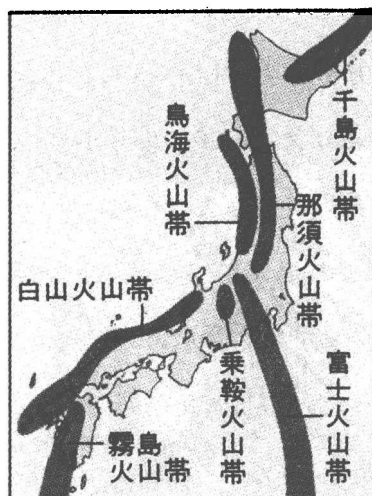
1、位置と面積

日本はアジアの東にあり、北東から南西に弓形に連なった島国である。四つの大きな島は北海道・本州・四国・九州である。海を隔てて朝鮮半島・中国・アメリカ・ロシア・フィリピン・マレーシア・インドネシアなどがある。日本は東経122度から154度、北緯20度から46度の間に位置している。国土の面積はおよそ37万平方キロメートルある。これは中国の約26分の1、アメリカの約25分の1、ロシアの45分の1、イギリスの1.5倍にあたる。中国吉林省（18万平方キロメートル）の2倍よりやや大きい。雲南省（38万平方キロメートル）より小さい。日本の国土は北海道・本州・四国・九州の四つの大きな島と、その回りのたくさんの島からなっている。北の端から南の端までの距離は約3000kmあり、亜寒帯から亜熱帯まで極めて広い気候帯に跨っている。四つの大きな島の中で、その面積は本州が一番大きく、次いで北海道・九州・四国の順となっている。本州は東北・関東・中部・近畿・中国の5地区に区分される。

2、地形

日本は環太平洋火山帯4)に属し、山地が多い。国土の3分の2近

くが山地である。しかもその山地は一般に傾斜が急で険しく、海岸近くまで迫り出している。このため日本は平野が少ない。ほとんどの山地は、火山活動によってできたものである。日本列島全体が火山帯の上にあるといってもよい。細長い日本列島を縦断または横断して通っている火山帯は、千島火山帯・那須火山帯・鳥海火山帯・乗鞍火山帯・富士火山帯・白山火山帯・霧島火山帯の七つの火山帯5)があり、温泉や湖を造り、国立公園が多い。一番高い山は富士山(3776 m)である。富士山北麓には山中湖・河口湖



・西湖・精進湖・本栖湖があり、富士五湖といわれて観光地として有名である。活火山として有名なのは熊本県の阿蘇山6)、伊豆大島にある三原山7)、長野・群馬両県に跨る浅間山8)である。本州の

ちゅうおうぶ ひだ きそ あかいし あつ
中央部には、飛騨・木曾・赤石などの山脈が集まっている。それで

きゅう やま なら
3000 m 級の山が並んでいて、日本アルプス9) といわれている。

やね ふじさんいがい
「日本の屋根」ともいう。富士山以外に3000 m 以上の高い山は

あかいしだけ おんたけさん しおみだけ せんじょう が たけ たてやま のりくらだけ ひじりだけ
赤石岳・御嶽山・塩見岳・仙丈ヶ岳・立山・乗鞍岳・聖岳・

ほたかだけ
穂高岳などである。

みじか なが はげ きせつ すいりょう へん か
日本の川は短くて流れが激しい。季節による水量の変化が激し

はる ゆき たいふう ほうふ みずしげん
く、春の雪どけや台風ของときには、豊富な水資源をもたすが、

こうざい お じょうりゅう はつてん
洪水を起こすことも多い。今は上流にダムを作り、発電・

いんようすい のうこうぎようすい きようきゅう やくだ いちばんなが
飲用水・農工業用水の供給に役立っている。一番長い川は

しなのがわ りゅういき
信濃川(367 km)で、その流域には新潟平野をなしている。世界で

もっと がわ ちゅうごく
最も長いエジプトのナイル川(6690 km)の18分の1、中国の

ちょうこう しょうかこう
長江(5530 km)の15分の1で、松花江(1840 km)の5分の1であ

かんとうへいや とねがわ ほっかいどう いしかり
る。関東平野には利根川(298 km)が流れている。北海道に石狩

へいや いしかりがわ
平野があり、石狩川(268 km)が流れている。その他主な川は

ほっかいどう てしおがわ とかがわ ほんしゅう もがみがわ きたかがわ きそがわ
北海道の天塩川・十勝川・本州の最上川・北上川・木曾川・天竜

ちくごがわ かせん なが こ
川・九州の筑後川などである。河川が流れ込むあたりには、たいて

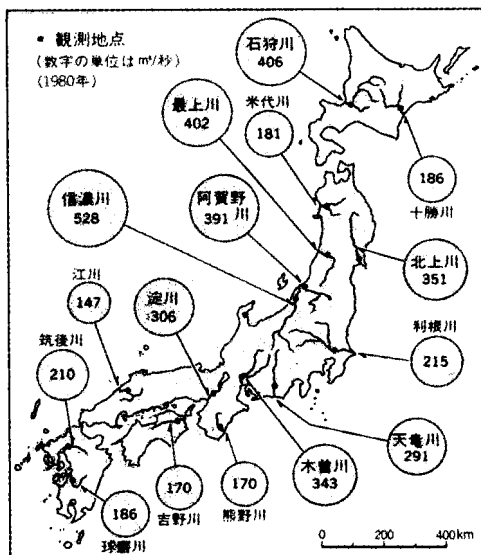
どしや たいせき へいや だいひょうてき とねがわ
い土砂が堆積して平野が出来る。その代表的な平野は、利根川の

りゅういき かんとうへいや ほっかいどう いしかりへいや しなのがわ りゅういき
流域にある関東平野、北海道の石狩平野、信濃川の流域にある

いにがたへいや きそがわ りゅういき のうび へいや きゅうしゅう ちくごがわ
新潟平野、木曾川の流域にある濃尾平野、九州の筑後川の流域に

ある筑紫平野などである。世界的に見ると非常に狭い平野である。

湖は、火山のある地方や海岸に多い。火山によってできた湖には、青森・秋田両県の境にある十和田湖や栃木県日光の中禅寺湖などがあり、深くて水の澄んでいるところが多い。平地にある茨城県の日本第2の大湖——霞ヶ浦や静岡県浜名湖は浅くて魚類が豊富である。一番大きい琵琶湖は、土地が落ち込んでできた湖である。いまは、ダムによる人工湖も多い。北海道のサロマ湖、福島県の猪苗代湖も大きい湖である。秋田県の八郎潟はかつて



日本第2の湖であったが、8割が開拓され、今の八郎潟は48.3平方キロメートルの湖である。

3、気候

日本は ^{きたはんきゆう}北半球 ^{ちゆういど}の中緯度^{だいふぶん}にあり、大部分は ^{おんたい}温帯^{ぞく}に属しているの、
^{おんわ}温和な ^{きこう}気候である。亜寒帯～亜熱帯10)の ^{きこうたい}気候帯にまたがっている。

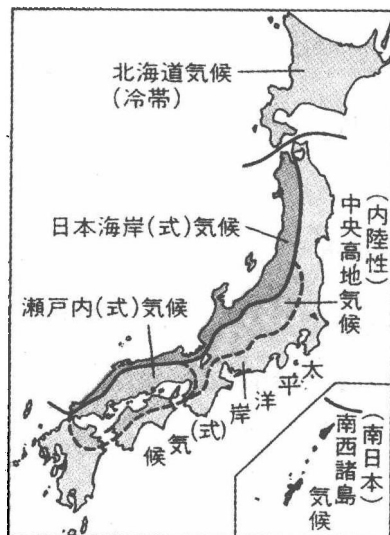
四季の変化がはっきりしている。^{なんぼく}南北の ^{きおんさ}気温差^{きせつふう}が大きい。季節風

11)、^{ばいう}梅雨^{たいふう}、^{きせつふう}台風の影響^{なつ}を受ける。季節風とは ^む夏と ^{ぎやく}冬とで向きが ^む逆

になる風の^{たいりく}ことをいう。^{たいへいよう}冬は大陸^{はんたい}から ^{はんたい}太平洋^{はんたい}へ、夏はその ^{はんたい}反対に

^ふ吹く。^{えどじだい}江戸時代の ^{しょうせん}商船^{なんよう}は、^{しょうばい}南洋^{きせつふう}に行^{きせつふう}って ^{きせつふう}商売^{きせつふう}をするのに、季節風

を利用した。^{ゆきぐに}戦国時代に ^{ゆきぐに}雪国^{ゆきぐに}では冬は大雪で戦争ができなかったと
 いう。



^{たいよう}大陸と ^{はき}大洋^{たいへいよう}に挟まれた日本では、^{たいへいよう}太平洋^{こうきあつ}からはりだす夏の ^{こうきあつ}高気圧